

# 安全データシート(SDS)

JIS Z 7253:2012  
発行日:2017年6月6日

部品番号:K9411TY 濁度標準液(ポリスチレン) 100度Ⅱ

---

## 1. 製品及び会社情報

製品名: 濁度標準液(ポリスチレン) 100度Ⅱ

### 提供者の情報

会社名: 横河電機株式会社  
所在地: 〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32  
担当部門: IAプロダクト&サービス事業本部 アナライザーセンター ビジネス推進部  
電話番号: 0422-52-5845

推奨用途及び使用上の制限: 濁度計の校正にお使いください。

---

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

物理化学的危険性 分類なし

健康に対する有害性 分類なし

環境に対する有害性 分類なし

### GHS ラベル要素

絵表示 なし

注意喚起語 なし

危険有害性情報 なし

注意書き[安全対策] なし

注意書き[応急措置] なし

注意書き[保管(貯蔵)] なし

注意書き[廃棄] なし

他の危険有害性 情報なし

---

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学物質・混合物の区別 混合物

#### 組成及び成分情報

化学名 または一般名	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	濃度(wt%)
スチレン系樹脂	非公開	非公開	<0.01%
アジ化ナトリウム	26628-22-8	(1)-482	<0.1%
水	7732-18-5	-	>99.9%

その他の情報は添付資料参照

#### 4. 応急措置

添付資料参照

#### 5. 火災時の措置

添付資料参照

#### 6. 漏出時の措置

添付資料参照

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

添付資料参照

#### 8. ばく露防止及び保護措置

添付資料参照

#### 9. 物理的及び化学的性質

添付資料参照

#### 10. 安定性及び反応性

添付資料参照

#### 11. 有害性情報

添付資料参照

#### 12. 環境影響情報

添付資料参照

#### 13. 廃棄上の注意

添付資料参照

#### 14. 輸送上の注意

添付資料参照

#### 15. 適用法令

添付資料参照

#### 16. その他の情報

添付資料: JSR ライフサイエンス株式会社 濁度標準液(ポリスチレン)100 度 II 安全データシート

#### 免責事項

本 SDS は JIS Z 7253:2012 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成しております。すべての情報を網羅しているものではありませんので、新たな情報を入手した場合には追加または訂正されることがあります。

SDS は、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので、物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なり、いかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

# 安全データシート

作成日  
改定日

2012年03月07日  
2016年12月05日

## 1. 製品及び会社情報

製品名 濁度標準液(ポリスチレン)100度 II  
製造会社 JSRライフサイエンス株式会社  
供給会社 JSR株式会社  
住所 東京都港区東新橋一丁目9番2号  
担当部門 ライフサイエンス事業部  
電話番号 (03)6218-3556  
FAX番号 (03)6218-3605

推奨用途及び使用上の制限事項  
一般工業品

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

火薬類:	分類対象外
可燃性/引火性ガス:	分類対象外
可燃性/引火性エアゾール:	分類対象外
支燃性/酸化性ガス:	分類対象外
高压ガス:	分類対象外
引火性液体:	区分外
可燃性固体:	分類対象外
自己反応性化学品:	区分外
自然発火性液体:	区分外
自然発火性固体:	分類対象外
自己発熱性化学品:	区分外
水反応可燃性化学品:	分類対象外
酸化性液体:	分類対象外
酸化性固体:	分類対象外
有機過氧化物:	分類対象外
金属腐食性物質:	区分外
急性毒性	
経口:	区分外
経皮:	区分外
吸入(ガス):	分類対象外
吸入(蒸気):	分類できない
吸入(粉塵、ミスト):	分類できない
皮膚腐食性/刺激性:	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/刺激性:	分類できない
感作性	
呼吸器:	分類できない
皮膚:	分類できない
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性:	分類できない
生殖毒性:	分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露):	分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露):	分類できない
吸引性呼吸器有害性:	分類できない

水生環境

急性有害性: 分類できない  
 長期間有害性: 分類できない  
 オゾン層への有害性: 分類できない

GHSラベル要素

GHS分類に該当しない他の危険有害性

有害性: 知見なし  
 環境影響: 知見なし  
 物理的及び化学的危険性: 通常の取扱いでは、火災の危険性は低い。  
 重要な徴候: 情報なし  
 想定される非常事態の概要: 特になし

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区分: 混合物  
 化学名又は一般名: 濁度標準液(ポリスチレン)100度 II  
 化学式: 非公開  
 濃度又は濃度範囲:

化学名又は一般名	略号	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号		CAS No
			化審法	安衛法	
スチレン系樹脂	-	<0.01%	非公開	非公開	非公開
アジ化ナトリウム	-	<0.1%	1-482	公表化学物質	26628-22-8
水	-	>99.9%	-	-	7732-18-5

法規制対象成分:

成分	安衛法	化管法
スチレン系樹脂	表示対象物/通知対象物に該当しない	指定化学物質に該当しない
アジ化ナトリウム	表示および通知対象物(令別表第9の9)	第一種指定化学物質 第11号
水	表示対象物/通知対象物に該当しない	指定化学物質に該当しない

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物:  
 特になし

4. 応急措置

吸入した場合:  
 被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動させる。  
 体を毛布等でおおい、保温して安静を保つ。  
 呼吸が止まっている場合は、衣服をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。  
 直ちに医師の手当を受ける。

**皮膚に付着した場合：**

- 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。
- 必要であれば衣類、靴などを切断する。
- 製品に触れた部分を直ちに水または微温湯を流しながら洗浄する。
- 石鹸を使ってよく落とす。
- 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医師の手当を受ける。

**目に入った場合：**

- 清浄な水で最低15分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。
- 洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。

**飲み込んだ場合：**

- 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませる。
- 必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。
- 被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

**最も重要な徴候及び症状：**

情報なし

**応急措置をする者の保護：**

- 汚染された衣類や保護具を取り除く。
- 救助者が有害物質に触れたり、吸入したりしないよう適切な保護具を使用するなど注意する。

**医師に対する特別な注意事項：**

情報なし

## 5. 火災時の措置

**消火剤：**

この製品自体は、燃焼しない。

**使ってはならない消火剤：**

特になし

**火災時の特有の危険有害性：**

火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生する恐れがある。

**特有の消火方法：**

- 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
- 消火のための放水等により、環境に製品が流出しないよう適切な措置を行う。

**消火を行う者の保護：**

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク、給気式呼吸用保護具)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：**

漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、ろ過式呼吸用保護具、給気式呼吸用保護具等を着用する。

**環境に対する注意事項：**

流出した製品が河川や下水等に排出され、環境に影響を起こさないように注意する。

**封じ込め及び浄化の方法・機材：**

- 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
- 大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

**二次災害の防止策：**

排水溝・下水溝・地下室あるいは封鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策:

漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりにミストを発生させない。  
皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないようにする。  
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

#### 局所排気・全体排気:

特になし

#### 注意事項:

みだりにミストが発生しないように取扱う。  
乾燥させないこと。粉じんを吸入しないこと。

#### 安全取扱い注意事項:

特になし。

### 保管

#### 技術的対策:

保管場所には製品を貯蔵し、または取り扱うために必要な採光、照明、および換気の設備を設ける。

#### 適切な保管条件:

直射日光を避け、換気のよい場所で、容器を密閉し保管する。  
保証期限を過ぎた製品は速やかに廃棄する。  
4～30℃で保管する。凍結禁止。

#### 安全な容器包装材料:

製品容器を使用する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策:

ヒュームやミストが発生する場合には、局所排気装置を設置する。

### 管理濃度:

設定されていない

### 許容濃度:

アジ化ナトリウム	0.29 mg/m <sup>3</sup>	Ceiling limit	ACGIH
----------	------------------------	---------------	-------

### 保護具

#### 呼吸器の保護具:

ミスト等が発生する場合には、送気マスクを使用する。

#### 手の保護具:

保護手袋を着用する。

#### 目の保護具:

保護眼鏡または防災面を着用する。

#### 皮膚及び身体の保護具:

保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。

### 適切な衛生対策:

作業後、手をよく洗い、うがいをしてから喫煙、飲食等をする。

## 9. 物理的及び化学的性質

形状:	液体
色:	透明に近い乳白色
臭い(臭いの閾値):	無臭
pH:	7～9
融点/凝固点:	
製品	約0℃
アジ化ナトリウム	275℃(分解開始)

沸点:	
製品	約100℃
アジ化ナトリウム	約300℃(爆発的分解)
初留点:	
製品	データなし
沸騰範囲:	
製品	データなし
引火点:	
該当しない	
自然発火温度(発火点):	
該当しない	
燃焼性(固体、ガス):	
該当しない	
燃焼又は爆発範囲(下限):	
該当しない	
燃焼又は爆発範囲(上限):	
該当しない	
蒸気圧:	
製品	データなし
アジ化ナトリウム	1Pa (20℃)
蒸気密度:	
製品	データなし
アジ化ナトリウム	2.26 (空気=1)
蒸発速度:	
製品	データなし
比重および密度:	
製品	データなし
アジ化ナトリウム	1.846 (20℃)(比重)
溶解性:	
アジ化ナトリウム	41.7g/100mL (17℃)
オクタノール/水分配係数:	
アジ化ナトリウム	logPow=0.16(計算値)
分解温度:	
アジ化ナトリウム	275-330℃に熱せられると分解して窒素ガスを放出し、酸化ナトリウムを残す。
粘度:	
データなし	
その他のデータ:	
特になし	

## 10. 安定性・反応性

### 安定性:

保管の項目記載の保管条件で安定。

アジ化ナトリウムは、加熱により融解して300℃で分解する。

### 危険有害反応可能性:

水を含むので、禁水性物質と接触すると、発火、爆発の危険性がある。

アジ化ナトリウムは、乾燥すると熱、火災、摩擦又は衝撃により爆発するおそれがある。

### 避けるべき条件:

直射日光、高温体との接触を避ける。

アジ化ナトリウムは、酸によって有毒かつ爆発性のアジ化水素酸を発生する。

## 混触危険物質:

酸化剤、強酸、強アルカリ。

アジ化ナトリウムは、鉛、真鍮、銅、銀と接触すると火災と爆発の危険性がある。

## 危険有害な分解生成物:

情報なし

## 11. 有害性情報

## 急性毒性:

アジ化ナトリウム	45mg/kg	経口ラット(LD50)	安全衛生情報センター GHSモデルSDS
アジ化ナトリウム	20mg/kg	経皮ラビット(LD50)	RTECS
アジ化ナトリウム	37mg/m3	吸入(蒸気)ラット(LC50)	RTECS

## 皮膚腐食性/刺激性

アジ化ナトリウム

1時間では刺激を起こさなかったが、4時間で腐食性を示した。

## 眼に対する重篤な損傷/刺激性:

アジ化ナトリウム

皮膚腐食性・刺激性評価結果から重篤な眼の損傷が想定される。

## 呼吸器感受性/皮膚感受性:

データなし

## 変異原性(生殖細胞変異原性)

アジ化ナトリウム

in vitro微生物変異原性試験での陽性結果があるものの、in vitro哺乳類細胞変異原性試験では陰性との結果がある。

## 発がん性:

アジ化ナトリウム

ACGIH: グループA4 (ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質)

## 生殖毒性:

データなし

## 特定標的臓器毒性(単回暴露):

アジ化ナトリウム

ヒトについて、血圧低下(かつては治療薬として使用された)と、その呼吸器・消化器等への副作用と見られる事例が多数ある。

## 特定標的臓器毒性(反復暴露):

アジ化ナトリウム

ヒトで高血圧の治療に長期使用した際、一部の患者に感受性の増大がみられた、動物実験で10mg/kg・day以下の投与量で肝臓への影響が見られたとの報告がある。

## 吸引性呼吸器有害性:

データなし

## 12. 環境影響情報

## 水生環境有害性

## 魚類:

アジ化ナトリウム	0.7mg/l (96h)	ブルーギル(LC50)	HSDB
----------	---------------	-------------	------

## 甲殻類:

データなし

## 藻類:

データなし

## 残留性/分解性:

アジ化ナトリウム

直接測定(HPLC)による分解度:1%

## 生体蓄積性:

データなし

## 土壌中の移動性

データなし



オゾン層への有害性:

データなし

他の有害影響:

知見のない項目が多いので、一般環境内への廃棄は行わない。

### 13. 廃棄上の注意

廃水は中和後、凝集沈殿、活性汚泥等の処理をする。  
環境への放出は、除害化してから行う。

### 14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類:	分類基準に該当しない
国連番号:	分類基準に該当しない
品名(国連輸送品名):	分類基準に該当しない
容器等級:	分類基準に該当しない

国内規制:

適用法令を参照

特別の安全対策:

特になし

輸送の特定の安全対策及び条件:

輸送前に容器の破損、腐食漏れ等がないことを確認する。  
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

### 15. 適用法令

<アジ化ナトリウム>

化学物質排出把握管理促進法(化管法) 施行令第1条別表第1 第1種指定化学物質  
労働安全衛生法第57条および同条の2に規定される表示および通知対象物(1重量%  
以上を含有する製剤その他のもの)

労働安全衛生法施行令別表1-1 爆発性の物

毒劇法指定令第1条 毒物(0.1%以下を含有するものを除く)

消防法第2条危険物 別表第5類 自己反応性物質(金属のアジ化物)

航空法施行規則第194条危険物 告示 別表第1 毒物類

船舶安全法 危規則第2、3条危険物 告示別表第1 毒物類

港則法施行規則第12条危険物 告示 毒物類

### 16. その他情報

引用文献

特になし

- 
- (1) このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容  
に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。

- (2) このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
  - (3) このデータシートは通常想定される保管方法及び取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取扱いに適した安全対策を実施の上ご利用ください。
  - (4) 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご使用ください。
  - (5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守のうえ、輸出してください。
-